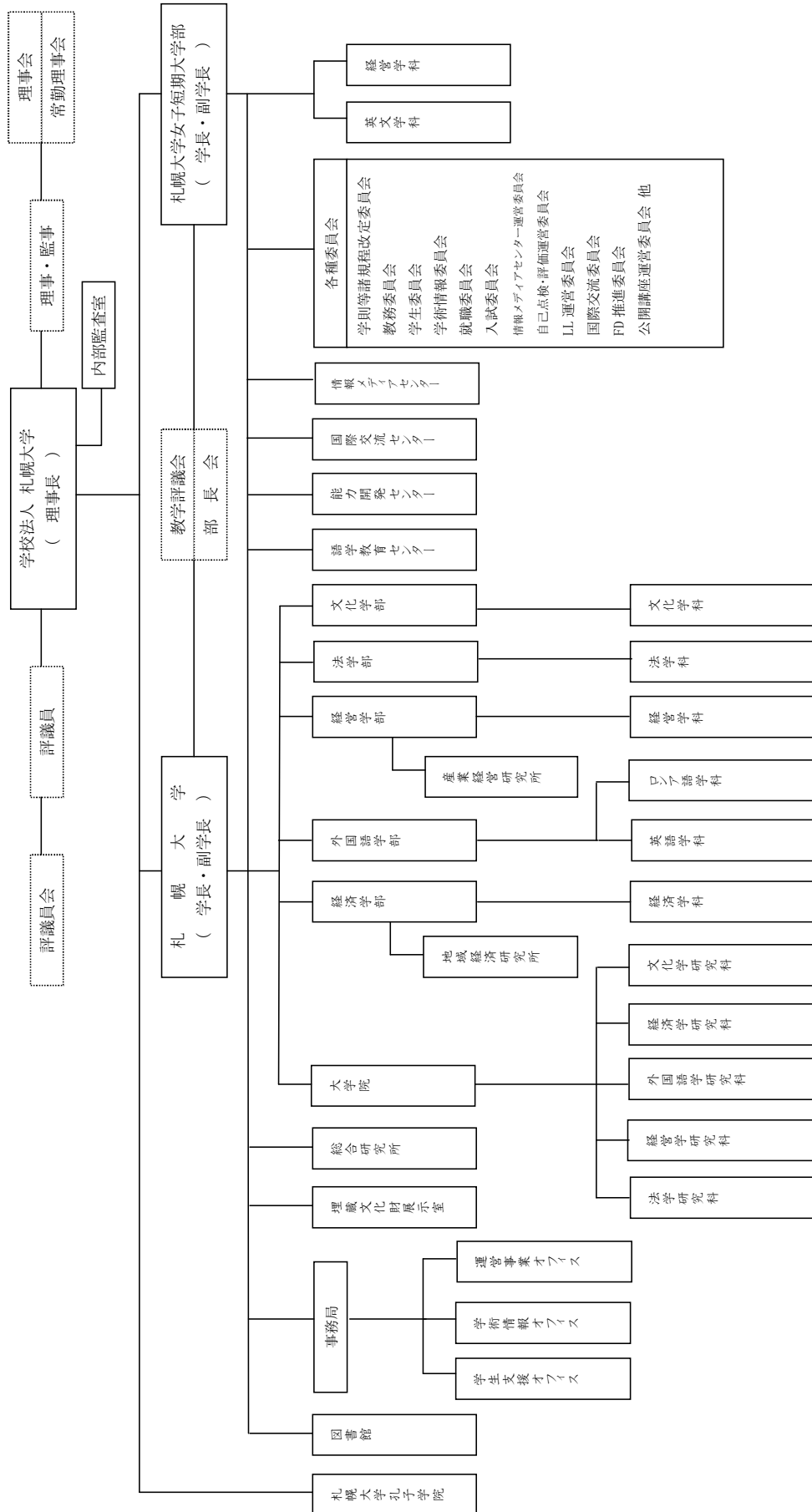


# 平成21年度事業現況

〔平成21年5月1日現在〕

# 14 法人・教学組織

(1) 学校法人の組織図 (平成 21 年 5 月 1 日現在)



(2) 理事・監事・評議員等一覧（平成 21 年 5 月 1 日現在）

**理 事**（定員 15 人以上 17 人以内、現在数 17 人）

理事長 堀 達也

専務理事 黒澤勝昭

理事・学長 宮腰昭男

大森義行、中本和秀、林 研三、眞瀬勝康、藤山和夫

渡辺一郎、伊藤義郎、山中 洋、吉野僚哲、小笠原軍治

今野克己、平山成信、中井千尋、吉澤織夫

**監 事**（定員 2 人、現在数 2 人）

笠井彦隆、横山健彦

**評 議 員**（定員 32 人以上 36 人以内、現在数 34 人）

1号 宮腰昭男

2号 堀 達也、伊藤義郎、黒澤勝昭、山中 洋、吉野僚哲

小笠原軍治、今野克己、平山成信、中井千尋、吉澤織夫

3号 大森義行、竹川雅治

4号 藤山和夫、渡辺一郎

5号 森 宏志、藤井敬一、伊藤条一、岡野誠一郎、対馬徳昭

大久保和幸、大久保宰雄、藤井 実、村上秀一、小笠原 誠

片野敏夫、中本和秀、林 研三、眞瀬勝康、原田明信

大矢 温、小野保之、前原宏一、本田優子

(3) 副学長・5部長・学部長・研究科長一覧 (平成21年5月1日現在)

① 副学長

役職名	ふりがな 氏名 [生年月日(年齢)]
副学長	おおもりよしゆき 大森義行 昭33.3.19(51)
副学長	やまだあきら 山田玲良 昭42.3.31(42)

② 5部長

役職名	ふりがな 氏名 [生年月日(年齢)]
教務部長	ほんままさみ 本間雅美 昭26.5.22(57)
学生部長	こやましげる 小山茂 昭39.9.27(44)
図書館長	たけがわまさはる 竹川雅治 昭18.10.03(65)
入試部長	なかもとかずひで 中本和秀 昭27.2.22(57)
就職部長	いずみたかし 泉敬史 昭33.11.5(50)

③ 学部長

役職名	ふりがな 氏名 [生年月日(年齢)]
経済学部長	はら だ あき のぶ 原 田 明 信 昭 27. 10. 17 (56)
外国語学部長	おお や おん 大 矢 温 昭 31. 6. 4 (52)
経営学部長	お の やす ゆき 小 野 保 之 昭 30. 1. 16 (54)
法学部長	まえ はら こう いち 前 原 宏 一 昭 33. 11. 2 (50)
文化学部長	ほん だ ゆう こ 本 田 優 子 昭 32. 5. 22 (51)
女子短期 大学部長	く どう とし ひこ 工 藤 利 彦 昭 30. 1. 3 (54)

④大学院研究科長

役職名	氏 名 [生年月日(年齢)]
法学 研究科長	はんだ ゆうじ 半田 祐司 昭18.8.31(65)
経営学 研究科長	つる ひでろう 鶴 日出郎 昭25.10.1(58)
外国語学 研究科長	はまだ ひでと 濱田 英人 昭32.4.11(51)
経済学 研究科長	くわばら まさと 桑原 真人 昭18.7.5(65)
文化学 研究科長	らんべつり, ふあびお ランベツリ, フェビオ 昭38.6.15(45)

## (4) 教職員数一覧

(平成21年5月1日現在)

《学 長》 1人
----------

学部等名		総数	教授	准教授	講師
経済学部	経済学科	28	20	8	0
外国語学部	英語学科	11	7	4	0
	ロシア語学科	10	7	1	2
	小計	21	14	5	2
経営学部	経営学科	31	21	10	0
法学部	法学科	27	16	9	2
文化学部	文化学科	23	16	5	2
計		130	87	37	6

女子短期大学部	17	7	7	3
---------	----	---	---	---

合計	147	94	44	9
----	-----	----	----	---

\* 学長を除く。

	総数	事務局長	事務局次長	事務長	副事務長	係長	係員
事務局	3	1	2				
内部監査室	2						2
孔子学院事務局	1						1
運営事業オフィス	29			5	3	5	16
学生支援オフィス	34			4	3	8	19
学術情報オフィス	19			2	2	2	13

合計	88	1	2	11	8	15	51
----	----	---	---	----	---	----	----

(5) 教 職 員 名 簿

① 教員

《大学・短大学長》 宮 腰 昭 男

☆印は、平成21年度採用者  
◆印は、招聘教員

(平成21年5月1日現在)

経済学部 (28人)	外国語学部 (21人)	経営学部 (31人)	法学部 (27人)
学部長・教授 原 田 明 信 (経済学科) 教授 飯 田 隆 雄 教授 井 上 治 子 教授 岩 崎 徹 男 教授 小 島 基 太 教授 北 工 藤 孝 教授 熊 桑 谷 ユ 教授 桑 原 ヨ リ 教授 駒 木 泰 人 教授 佐 藤 俊 二 教授 堀 尾 川 哲 教授 本 松 源 雅 教授 宮 田 厚 太郎 教授 山 田 山 玲 教授 山 田 小 紀 教授 石 井 垣 陽 教授 准 稲 岩 内 千 教授 准 宮 武 川 教授 准 米 田 彦 浩	学部長・教授 大 矢 温 (英語学科) 教授 山 弘 幸 教授 加 藤 芳 子 教授 時 崎 久 夫 教授 濱 野 英 人 ☆ 教授 久 野 政 人 教授 ボ ゼ ア, ア ラ ン 教授 三 井 好 暢 教授 准 井 筒 美 津 教授 准 豊 里 真 弓 教授 准 松 本 由 起 教授 准 ラ ド ク リ フ, フ ィ リ ッ プ (ロシア語学科) 教授 泉 敬 史 教授 金 子 利 喜 男 教授 ジ ョ ー ノ フ, ウ ラ ジ ー ミ ル 教授 鈴 木 淳 一 教授 高 田 純 隆 教授 山 田 健 一 郎 教授 准 高 橋 健 一 郎 ☆ ◆ 講 師 コ ヴ ア レ ン コ, ユー リ ヤ 講 師 田 村 愛 火	学部長・教授 小 野 保 之 (経営学科) 教授 藤 公 紀 教授 伊 内 汪 森 田 公 一 教授 大 尾 久 保 田 森 田 義 智 教授 久 小 酒 佐 久 保 藤 葉 敏 教授 佐 佐 木 藤 藤 博 幸 一 教授 中 日 前 三 明 尾 見 井 教授 森 八 浅 今 久 高 陳 豊 三 山 山 教授 准 准 准 准 准 准 准 准 准 准 教授 准 准 准 准 准 准 准 准 准	学部長・教授 前 原 宏 一 (法学科) 教授 浅 野 一 弘 教授 十 嵐 一 成 教授 五 藤 良 一 教授 伊 大 城 純 良 教授 小 田 切 秀 三 教授 金 小 鈴 城 木 樹 教授 高 竹 久 川 均 教授 田 中 原 雅 穂 教授 田 林 宏 勝 教授 半 山 野 祐 真 教授 宇 小 倉 浦 二 一 教授 准 武 田 圭 明 教授 准 野 中 口 恒 教授 准 早 矢 大 有 教授 准 藤 森 上 山 机 原 教授 講 師 田 原 博 幸
文化学部 (23人) 学部長・教授 本 田 優 子 (文化学科) 教授 石 塚 純 一 教授 小 笠 原 は る 教授 川 上 淳 一 教授 川 名 広 文 教授 川 村 清 志 教授 佐 藤 勝 彦 教授 高 宮 和 広 教授 中 田 幹 夫 教授 張 田 子 雄 教授 増 手 昭 治 教授 御 山 幸 子 教授 山 橋 フ ァ ビ オ 教授 李 景 珉 教授 准 池 田 正 之 教授 准 金 高 瀨 英 津 教授 准 高 瀧 元 誠 樹 教授 准 渡 邊 さ ゆ り 教授 講 師 金 東 原 文 誠 郎	女子短期大学部 (17人) 部長・教授 工 藤 利 彦 (英文学科) 教授 グ リ ー ン, ウ ィ リ ア ム 教授 塚 谷 周 次 教授 村 上 勝 則 教授 後 藤 善 久 ☆ 教授 プ ラ ウ ン, ダ イ ア ン 教授 准 松 田 潤 講 師 渡 部 あ さ み (経営学科) 教授 中 村 博 信 教授 真 瀨 勝 康 教授 三 ツ 木 芳 夫 教授 井 上 奈 子 教授 准 小 山 茂 子 教授 准 長 谷 部 吉 子 教授 准 土 方 直 育 教授 堀 江 育 也	名譽教授 (40人) 青 山 治 郎 荒 川 三 俊 伊 賀 上 正 實 内 田 達 治 梅 原 達 博 奥 村 沼 郎 貝 加 藤 男 叶 木 村 正 夫 木 熊 村 真 幸 倉 谷 直 治 芸 林 武 徳 堺 柴 田 二 郎 清 水 昭 典 藤 沼 賢 慶 隆 一	相 高 馬 守 胤 高 岡 松 尚 田 中 法 昇 子 寺 村 昇 平 遠 田 永 晴 武 成 林 德 良 健 原 馬 子 修 匹 田 元 二 平 福 星 三 郎 宮 山 山 良 内 山 山 川 口 谷 義 昌 萬 谷 口 義 昌 弘 一 谷 博 幸 夫 二 博 幸 夫 三 博 幸 夫 四 博 幸 夫 五 博 幸 夫 六 博 幸 夫 七 博 幸 夫 八 博 幸 夫 九 博 幸 夫 十 博 幸 夫 十一 博 幸 夫 十二 博 幸 夫 十三 博 幸 夫 十四 博 幸 夫 十五 博 幸 夫 十六 博 幸 夫 十七 博 幸 夫
			* 教員合計 147人



② 事務職員

(平成21年5月1日現在)

《事務局・3人》	《内部監査室・2人》	《孔子学院事務局・1人》
事務局長 岡地功 事務局次長 野野昭一 事務局次長 柴野正裕	豊木昭芳 若井勝蔵	(兼務) (加清真二) 中野直春
《運営事業オフィス・29人》	《学生支援オフィス・34人》	《学術情報オフィス・19人》
事務局長 明加 事務局長 篠永 事務局長 森古 事務局長 越宮 事務局長 菊辻 事務局長 富本 事務局長 秋五 事務局長 遠大 事務局長 大海 事務局長 下須 事務局長 高西 事務局長 乘橋 事務局長 弘宮 事務局長 石清 事務局長 原澤 事務局長 賀野 事務局長 原田 事務局長 永庄 事務局長 木野 事務局長 川藤 事務局長 坂崎 事務局長 村鋒 事務局長 田原 事務局長 橋浜 事務局長 田本 事務局長 本 事務局長 直真 事務局長 幸基 事務局長 俊三 事務局長 竜卓 事務局長 孝孝 事務局長 みの 事務局長 勝伸 事務局長 美深 事務局長 祐太 事務局長 裕哲 事務局長 洋百 事務局長 雅俊 事務局長 千正 事務局長 和 事務局長 二 事務局長 行司 事務局長 子哉 事務局長 哉志 事務局長 りの 事務局長 晃巳 事務局長 嘉子 事務局長 雪人 事務局長 郎子 事務局長 史創 事務局長 誠一 事務局長 美利 事務局長 二晶 事務局長 要亮 事務局長 夫	事務局長 小近 事務局長 栄武 事務局長 秋笹 事務局長 部市 事務局長 岩加 事務局長 加工 事務局長 佐高 事務局長 畠旭 事務局長 池石 事務局長 梅金 事務局長 今佐 事務局長 島清 事務局長 田丹 事務局長 長平 事務局長 福藤 事務局長 藤松 事務局長 森安 事務局長 野藤 事務局長 田山 事務局長 森田 事務局長 村田 事務局長 谷藤 事務局長 藤松 事務局長 山田 事務局長 川原 事務局長 澤木 事務局長 田中 事務局長 野島 事務局長 山江 事務局長 倉本 事務局長 本本 事務局長 田 事務局長 寛幸 事務局長 晴修 事務局長 一正 事務局長 喜美 事務局長 利美 事務局長 晴清 事務局長 敏義 事務局長 広圭 事務局長 伸恵 事務局長 千絵 事務局長 光祐 事務局長 和香 事務局長 正健 事務局長 勝慎 事務局長 沙耶	事務局長 池三 事務局長 佐々 事務局長 谷伊 事務局長 渡岡 事務局長 坂笹 事務局長 滝田 事務局長 中長 事務局長 野畠 事務局長 彦平 事務局長 八重 事務局長 山 事務局長 内浦 事務局長 木口 事務局長 藤部 事務局長 山尻 事務局長 川本 事務局長 端明 事務局長 原中 事務局長 山田 事務局長 川榎 事務局長 口 事務局長 みさ 事務局長 敦敏 事務局長 武繁 事務局長 雅孝 事務局長 治芳 事務局長 よし 事務局長 菜優 事務局長 政練 事務局長 由太 事務局長 一子 事務局長 修孝 事務局長 毅史 事務局長 恵子 事務局長 之志 事務局長 子男 事務局長 の子 事務局長 子美 事務局長 朗美
		*職員合計 88人

## 15 平成 21 年度予算概要

本学は、平成 21 年度から平成 26 年度までの 6 年間を計画期間として、第四次基本計画がスタートする。これは、総合的教養教育型大学を目指す本学の再生に向けた取り組みであり、「新しい教育システムの構築に向けて」をベースとして、これまでの量的発展から質的充実へ方針を転換し、「教育する力」、「研究する力」、「経営する力」の三項目を掲げて改善に組織的に取り組むものである。

入試状況については、18 歳人口の減少が続くなか、ここ数年入学志願者数の減少が続いており、競合大学との格差が拡大しつつある。入学志願者を確保するためには、第四次基本計画にそった改善を図っていかねばならない。入学者数は入学定員の 1.0 倍を確保することを前提とし、複数年にわたって定員割れが続くことのないように、これまで以上に質の高い教育の提供と学生サービスの向上に努めることとする。

### 【消費収支予算】

#### [収入予算]

- ① 学生生徒等納付金は、入学金、授業料及び施設設備費は据置くこととし、入学者は定員の 1.00 倍で積算した。これにより、新入生は 1,258 人（内、大学院 48 人）、学生総数は 4,926 人（内、大学院 77 人）となり、対前年度 607,039 千円減の 4,437,219 千円となった。
- ② 手数料は、入学検定料 30 千円（大学入試センター試験 14 千円、私費外国人留学生 10 千円）に据置くとともに、一般入試及び大学入試センター試験の併願者に対しては、入学検定料の減額措置を実施する。  
また、受験者数は 2,308 人（内、私費外国人留学生 20 人、大学入試センター試験 700 人、大学院 48 人）を想定し、証明手数料、センター試験実施手数料等を加えて、対前年度 5,819 千円減の 62,256 千円を見込んでいる。
- ③ 寄付金は、札幌大学後援会寄附金の増加があり、対前年度 1,000 千円増の 21,200 千円を見込んでいる。
- ④ 補助金は、経常費補助金で一般補助金の減により 63,255 千円の減少、その他、留学生の減少による留学生修学援助補助金の減少、札幌市補助金の補助率変更等による減少、施設高度化利子助成金の減少により、対前年度 65,400 千円減の 512,440 千円を見込んでいる。
- ⑤ 資産運用収入は、資金運用による有価証券受取利息の減により、対前年度 63,985 千円減の 177,225 千円を見込んでいる。
- ⑥ 事業収入は、セミナーハウス利用料収入、孔子学院講座収入の増加により、対前年度 18,815 千円増の 59,200 千円を見込んでいる。
- ⑦ 雑収入は、私立大学退職金財団交付金の増加により、対前年度 78,326 千円増の

215,591千円を見込んでいる。

以上により、帰属収入は対前年度644,102千円減の5,485,131千円となる。

⑧ 基本金組入額

第1号基本金	112,042千円
・建物 5号館等取り壊し	△58,845千円
・構築物 駐車場舗装工事等	87,900千円
・教育研究用備品 パソコン他	14,227千円
・図書 一般図書 他	86,346千円
除却等	△17,586千円
・借入金返済	119,410千円
合計	231,452千円

以上により、消費収入の部合計は対前年度717,304千円減の5,253,679千円となる。

[支出予算]

- ① 人件費は、教員150人、職員88人で積算し、対前年度58,204千円減の3,018,988千円を見込んでいる。減少の要因は、教職員人件費、退職金、退職給与引当金繰入額の減によるものである。
- ② 教育研究経費は、対前年度2,334千円増の2,116,751千円を見込んでいる。増減の主な要因は、奨学費で44,703千円、修繕費で24,079千円、新聞図書費等で16,283千円の増加、支払手数料で18,021千円、賃借料で17,397千円、印刷製本費で4,156千円、旅費交通費で5,301千円、厚生費で7,677千円、補助費等で14,541千円の減少及び減価償却費で15,638千円の減少によるものである。
- ③ 管理経費は、対前年度65,001千円減の620,928千円を見込んでいる。減少の主な要因は、修繕費で67,331千円、広告費で6,612千円等の減少によるものである。
- ④ 借入金等利息は、私学事業団借入金の元金返済に伴う利息の減少により対前年度5,134千円減の23,540千円を見込んでいる。
- ⑤ 資産処分差額は、対前年度4,129千円減の49,101千円を見込んでいる。この減少の要因は、図書除却損が減少したものである。
- ⑥ 予備費は、不測の事態に対処するため10,000千円を計上した。

以上により、消費支出の部合計は対前年度130,134千円減の5,839,308千円となり、消費収支は585,629千円の支出超過となる。（『消費収支予算』参照）

【資金収支予算】

[収入予算]

- ① 学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄付金収入（現物寄付金を除く）、補助金収

入、資産運用収入、事業収入及び雑収入については、消費収支予算書と同じなので省略する。

- ② 前受金収入は、平成 22 年度学費等納付金の新入生、在学学生前納者を同数とみて、対前年度増減なしの 1,119,482 千円を見込んでいる。
- ③ その他の収入は、退職引当預金からの繰入収入、前期末未収入金収入の減により、対前年度 652,330 千円減の 237,046 千円を見込んでいる。
- ④ 資金収入調整勘定（控除科目）は、期末未収入金の増（退職金財団交付金の増）及び前期末前受金の減により、対前年度 36,453 千円増の 1,311,758 千円を見込んでいる。

以上により、前年度繰越支払資金 4,096,173 千円を加え、収入の部合計は対前年度 926,104 千円減の 9,623,074 千円となる。

#### 〔支出予算〕

- ① 人件費は、教員 150 人、職員 88 人で積算し、対前年度 12,416 千円増の 3,078,032 千円を見込んでいる。増加の要因は、退職金支出が増加したことによるものである。
- ② 教育研究経費支出（減価償却費を除く）、管理経費支出（減価償却費を除く）、借入金等利息支出及び予備費は、消費収支予算書と同じなので省略する。
- ③ 借入金等返済支出は、対前年度 10 千円減の 119,410 千円を見込んでいる。
- ④ 施設関係支出は、大学会館第二期工事完了による減により対前年度 568,082 千円減の 126,900 千円を見込んでいる。
- ⑤ 設備関係支出は、A V 設備プロジェクトの更新等があるが対前年度 11,814 千円減の 110,406 千円を見込んでいる。
- ⑥ 資産運用支出は、退職給与引当特定預金への繰入支出が 11,576 千円減となり、0 千円を見込んでいる。
- ⑦ その他の支出は、奨学貸付金支払支出及び預り金支払支出等の減少により、対前年度 6,374 千円減の 349,186 千円を見込んでいる。
- ⑧ 予備費は、前年度と同額の 10,000 千円を見込んでいる。
- ⑨ 資金支出調整勘定（控除科目）は、前年度と同額の 298,433 千円を見込んでいる。

以上により、次年度に繰越される支払資金は、対前年度 287,558 千円減の 3,808,615 千円となる。（『資金収支予算』参照）

# 平成21年度消費収支予算書

消費収入の部

(単位：千円)

科 目	平成20年度 当初予算額	平成21年度 予算額	増 減	摘 要
学生生徒等納付金	5,044,258	4,437,219	△	* 学年進行に伴う学生数の減少(645人)による納入額の減
手数料	68,075	62,256	△	* 入学検定料の減
補助金	20,200	21,200	△	
補給金	577,840	512,440	△	* 経常費補助金の減
資産運用収入	241,210	177,225	△	* 有価証券受取利息の減
事業収入	40,385	59,200	△	* 孔子学院講座収入の増
雑収入	137,265	215,591	△	* 退職金財団交付金の増
帰属収入合計	6,129,233	5,485,131	△	
基本金組入額合計	△	231,452	△	
消費収入部の合計	5,970,983	5,253,679	△	* 1号館南側駐車場整備に伴う組入額の増

消費支出の部

(単位：千円)

科 目	平成20年度 当初予算額	平成21年度 予算額	増 減	摘 要
人件費	3,077,192	3,018,988	△	* 教職員数の減(5人)及び退職給与引当金繰入額の減
教育研究経費	2,114,417	2,116,751		* 特待生奨学金等の増及び情報関連機器賃借料等の減
(内、減価償却額)	(403,868)	(393,230)	(△)	* 減価償却終了資産の増加による減
管理経費	685,929	620,928	△	* 委託管理費等の増及び建物修繕費の減
(内、減価償却額)	(43,088)	(49,031)	(△)	* キャンパス整備計画に伴う増
借入金等利息	28,674	23,540	△	* 借入金返済に伴う減
資産処分差額	53,230	49,101	△	* 図書除却損の減
予備費	10,000	10,000	0	
消費支出の部合計	5,969,442	5,839,308	△	
当年度消費収入超過額	1,541	585,629	△	
前年度繰越消費収入超過額	2,251,238	1,539,891		
翌年度繰越消費収入超過額	2,252,779	954,262		

# 平成21年度 資金収支予算書

収入の部

(単位：千円)

科 目	平成20年度 当初予算額	平成21年度 予算額	増 減	摘 要
学生生徒等納付金収入	5,044,258	4,437,219	△	*消費収支と同じ
手数料収入	68,075	62,256	△	*消費収支と同じ
寄付金収入	17,200	18,200	△	*消費収支（現物寄付金を除く）と同じ
補助金収入	577,840	512,440	△	*消費収支と同じ
資産運用収入	241,210	177,225	△	*消費収支と同じ
事業収入	40,385	59,200	△	*消費収支と同じ
雑収入	137,265	215,591	△	*消費収支と同じ
前受金の収入	1,119,482	1,119,482	0	*消費収支と同じ
その他の収入	889,376	237,046	△	*施設拡充引当預金からの繰入収入、前期末未収入金収入の減
資金収入調整勘定	1,275,305	1,311,758	△	*私立大学退職金財団交付金の増及び学費等前受金の減
前年度繰越支払資金	3,689,392	4,250,441	△	
収入の部合計	10,549,178	9,777,342	△	

支出の部

(単位：千円)

科 目	平成20年度 当初予算額	平成21年度 予算額	増 減	摘 要
人件費支出	3,065,616	3,078,032	△	*退職金支給額の増
教育研究経費支出	1,705,549	1,723,521	△	*消費収支（減価償却費を除く）と同じ
管理経費支出	637,841	571,897	△	*消費収支（減価償却費を除く）と同じ
借入金等利息支出	28,674	23,540	△	*消費収支と同じ
借入金等返済支出	119,420	119,410	△	*借入金元金償還に伴う減
施設関係支支出	694,982	126,900	△	*大学会館第二期工事完了に伴う減
設備関係支支出	122,220	110,406	△	*教育研究用機器備品の減
資産運用支支出	11,576	0	△	*退職給与引当金計上額の変更に伴う繰入額の減
その他の支支出	355,560	349,186	△	*奨学貸付金支払支出の減
予備費	10,000	10,000	0	
資金支出調整勘定	298,433	298,433	△	*前期末前払費用の減
次年度繰越支払資金	4,096,173	3,962,883	△	
支出の部合計	10,549,178	9,777,342	△	

## 16 入学試験関係事項

### (1) 平成21年度入学試験結果

#### ①札幌大学

学部	学科	定員	区分	募集人員	2009年度			充足率
					出願者数	合格者数	入学者数	
経済	経済	250	推薦	133	70	67	67	50.4
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	0	0	0	0	
			一般	87	202	179	87	100.0
			センター利用（前期）	20	157	121	27	135.0
			センター利用（後期）	10	18	15	8	80.0
			小計	250	447	382	189	75.6
外国語	英語	80	推薦	28	33	33	33	117.9
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	0	0	0	0	
			一般	29	87	66	43	148.3
			センター利用（前期）	20	91	63	15	75.0
			センター利用（後期）	3	10	5	1	33.3
			小計	80	221	167	92	115.0
	ロシア語	30	推薦	15	16	15	15	100.0
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	0	1	1	1	100.0
			一般	9	16	15	3	33.3
			センター利用（前期）	4	18	13	6	150.0
			センター利用（後期）	2	3	3	0	0.0
小計	30	54	47	25	83.3			
経営	経営	280	推薦	145	235	235	233	160.7
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	0	6	2	2	
			一般	90	173	144	59	65.6
			センター利用（前期）	30	133	102	37	123.3
			センター利用（後期）	15	24	22	6	40.0
			小計	280	571	505	337	120.4
法	法	220	推薦	110	74	74	74	67.3
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	0	0	0	0	
			一般	65	121	104	58	89.2
			センター利用（前期）	35	128	113	25	71.4
			センター利用（後期）	10	31	30	16	160.0
			小計	220	354	321	173	78.6
文化	文化	230	推薦	115	130	129	128	111.3
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	15	13	11	8	53.3
			一般	65	86	80	42	64.6
			センター利用（前期）	25	74	66	12	48.0
			センター利用（後期）	10	12	10	1	10.0
			小計	230	315	296	191	83.0
合計		1090	推薦	546	558	553	550	100.7
			帰国生徒・社会人	0	0	0	0	
			外国人留学生	15	20	14	11	73.3
			一般	345	685	588	292	84.6
			センター利用（前期）	134	601	478	122	91.0
			センター利用（後期）	50	98	85	32	64.0
			小計	1090	1962	1718	1007	92.4

## ②札幌大学女子短期大学部

学科	定員	区分	募集人員	2008年度			充足率
				出願者数	合格者数	入学者数	
英文	60	推薦	42	28	28	28	66.7
		特別・社会人	0	0	0	0	
		外国人留学生	0	0	0	0	
		一般	18	38	37	15	83.3
		小計	60	66	65	43	71.7
経営	60	推薦	42	32	32	30	71.4
		特別・社会人	0	0	0	0	
		外国人留学生	0	0	0	0	
		一般	18	39	37	20	111.1
		小計	60	71	69	50	83.3
合計	120	推薦	84	60	60	58	69.0
		特別・社会人	0	0	0	0	
		外国人留学生	0	0	0	0	
		一般	36	77	74	35	97.2
		小計	120	137	134	93	77.5

## ③外国人留学生

学部	学科	定員	区分	募集人員	2009年度			充足率
					出願者数	合格者数	入学者数	
外国語	ロシア語	若干名	一般	若干名	1	1	1	
経営	経営	若干名	一般	若干名	6	2	2	
文化	文化	5	推薦	5	2	1	1	
		10	一般	10	11	10	7	
合計		15		15	20	14	11	73.3



## ④大学院

(平成21年5月1日現在)

平成21(2009)年度																		
研究科 入学 定員	出願区分	〔前期〕				〔推薦〕				〔後期〕				〔計〕				
		出願	受験	合格	手続	出願	受験	合格	手続	出願	受験	合格	手続	出願	受験	合格	手続	
法 学	一 般	1	1	1	1									1	1	1	1	
	社 会 人	3	3	2	2					5	5	4	2	8	8	6	4	
	留 学 生													0	0	0	0	
	10 計	4	4	3	3	0	0	0	0	5	5	4	2	9	9	7	5	
経 営 学	一 般	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	2	2	
	社 会 人	1	1	1	1									1	1	1	1	
	留 学 生	3	2	2	2	1	1	1	1	5	5	4	2	9	8	7	5	
	10 計	5	4	3	3	2	2	2	2	6	6	5	3	13	12	10	8	
外 国 語 学	英 語	一 般								2	2	2	2	2	2	2	2	
		社 会 人												0	0	0	0	
		留 学 生												0	0	0	0	
	5 小計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	
	ロ シ ア 語	一 般	1	1	1	1					1	1	1	0	2	2	2	1
		社 会 人													0	0	0	0
		留 学 生													0	0	0	0
	3 小計	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	2	2	2	1	
8 計	1	1	1	1	0	0	0	0	3	3	3	2	4	4	4	3		
経 済 学	一 般													0	0	0	0	
	社 会 人													0	0	0	0	
	留 学 生	1	1	1	1									1	1	1	1	
	10 計	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
文 化 学	一 般	1	1	1	0					2	2	2	1	3	3	3	1	
	社 会 人									1	1	1	0	1	1	1	0	
	留 学 生									3	3	2	2	3	3	2	2	
	10 計	1	1	1	0	0	0	0	0	6	6	5	3	7	7	6	3	
合 計	一 般	4	4	3	2	1	1	1	1	6	6	6	4	11	11	10	7	
	社 会 人	4	4	3	3					6	6	5	2	10	10	8	5	
	留 学 生	4	3	3	3	1	1	1	1	8	8	6	4	13	12	10	8	
	48 合計	12	11	9	8	2	2	2	2	20	20	17	10	34	33	28	20	

## (2) 平成 21 年度入試政策について

### ① 一般入試日程について

- ・ 一般入試 3 日間から 2 日間に 1 日短縮、英語のリスニング以外は共通問題とし、1 日 4 併願まで認めることとした。
- ・ 一般入試 B 日程については 1 日間実施したが、大学間は 5 学科まで併願を可能とした。

### ② 特待生入学制度について

- ・ 短大における推薦試験において、指定の資格取得者を対象に春学期分の学費を免除する制度があるが、この制度で 3 人の入学者がいた。

## (3) 平成 21 年度入試渉外活動について

### ① 渉外活動

- ・ 高校訪問

大学や学部独自の情報を、高等学校側にどう周知徹底させるかが大きな問題である。その結果、高校訪問の重要性を再認識し、教員による訪問では高校側に大学全体の説明・PR は難しいことから、職員による高校側との信頼関係をより深めることを念頭に高校訪問を計画した。また、学部による政策的な訪問も行うこととした。

高校訪問についての、基本は次のとおりである。

訪問対象地域は従来どおりとし、北海道と東北の 2 ブロックとする。但し、ロシア語学科は対象地域を限定しない。

見直しの部分は次のとおり

教員・職員ともに受験生の確保が目的であるが役割分担を明確にし、教員は学部独自の紹介（学部広報）を行い、高校側との良好な信頼関係を醸成し、学部への要望や生徒のニーズなど入試及び学部教育に直接結びつく本音の情報を収集することを目的し、入試委員を中心に、自学部としての高校訪問対象校（ターゲット校は原則として札幌を中心とした石狩圏）を決定する。（但し、指定校はそのかぎりではない）。

ターゲット校決定の方法として、指定校、推薦及び一般入試における高校別受験者数（過去 5 年程度）のデータを基にして、入試委員会から各学部に提示する。

ただし、学部間で重複するターゲット校の調整は再度入試委員会で行った。

各学部はターゲット校に対し訪問教員を決める。訪問教員の担当する高校の決め方は学部に一任する。

各学部における訪問高校が決定した段階で、再度訪問校及び時期等の学部間調整を入試委員会で行う。

ターゲット校に対する対応については、一定の手順（マニュアル）が必要と思われるので、5 月下旬に作成した。

一方、職員は大学全体の紹介（大学広報）を行い、幅広い受験情報、大学改革情報等を情宣することとし、他オフィスからの協力を得てかなりの高校を訪問することができた。

「北海道・東北地区（前年度の本学への進学等を考慮）を重点的に訪問し、関東以南については、入試相談会等の開催時に可能な限り訪問した。なお、原則的に全日制高校を対

象」との方針に従い、道内については職員が中心となり訪問し、教員も訪問した。特に石狩圏については、可能な限り複数回訪問することとした。また、新規の推薦指定校は、それぞれの学部教員が訪問した。（重複部分は一部調整。）

- ・ 模擬講義、相談会、オープンキャンパス

入試広報の観点から非常に重要な広報活動であり、特に模擬講義(テーマ等は大学 HP で掲載及び冊子を作成し、高校訪問時において PR している)は、昨年とほぼ同数の依頼があった。(33 高等学校からの依頼、37 講義)模擬講義は、高等学校の「総合的な学習の時間」を利用して約 1 時間の中で判りやすい講義内容で行っているものであるが、他大学も積極的に高大連携の一環として実施しており、本学への依頼数も昨年並みになったと思われる。

本学の行っている教育内容、更には大学の評価を上げるために、今まで以上に情宣したい。

相談会については、業者主催、高校側単独開催の2通りがあるが、本学は可能な限り参加して高校生、教諭、保護者と直接触れ合うことでの受験生確保を全面に打ち出している。今後も相談会には参加して受験生の確保を目指したい。また、オープンキャンパスについては年3回開催しているが、実施内容について他大学と異なる企画・高校生の興味のある企画を打ち出して多くの高校生の参加に繋げたい。なお、学生主体のエントリーカレッジを入学センターと共同で3回開催したが、参加生徒は3回とも多くなかったが、受験率も高く、学生募集には繋がったといえる。今後は、さらに内容を精査し、学生確保に繋がる開催としたい。

#### (4) 平成 22 年度入試政策について

##### ① 入試委員会の結論を得て、次のとおり入試日程等を変更

- ・ 一般入学試験については、A・B 日程入試の複数入試を採用する。
  - (ア)B 日程入試について、1 日入試とし 3 月 6 日に実施するが、全学部が実施する。
  - (イ)B 日程入試は、学科目、小論文あるいは推薦・自己 PR 特別入試等の混合型とする。
  - (ウ)センター試験利用入試について、女子短期大学部も導入する。
  - (エ)センター試験利用入試について、大学は新たに C 日程を導入する。
- ・ 推薦入試における制度で、全学部公募制を導入する。
- ・ 道内試験会場について
  - (ア)A 日程で函館に設けることとする。
- ・ 推薦制度において出願資格、書式等を出来る限り統一した。

##### ② 校友会・教友会との連携について

- ・ 現状の入試状況を勘案し、校友会・教友会とより一層連携を保ち、さらに理解と協力を求め、志願者の増加に繋げるよう努力したい。特に、教友の教諭との連携を強めたい。

## 17 学年暦

月 日	大学・短大	月 日	大学院
4 1	入学式	4 1	入学式
4 2	春学期ガイダンス・オリエンテーション(～7)	4 7	前期オリエンテーション
4 8	春学期授業(～7/15)	4 8	前期授業(～7/29)
		4 18	法学研究科「学内特別選抜入学試験」
5 6	開学記念日	5 6	開学記念日
6 20	文連祭・体育大会(～22)	7 30	夏期休業(～9/18)
7 22	春学期定期試験(～28)		
7 29	夏期休業(～9/13)		
9 16	秋学期ガイダンス・オリエンテーション(～20)	9 9	経済学研究科推薦入学試験
9 20	春学期卒業証書授与式	9 19	前期学位授与式
9 22	秋学期授業(～1/26)	9 19	後期授業(～1/27)
10 10	大学祭(～13)		
10 18	課外活動特別推薦入学試験：10/18(土)	10 18	前期入学試験
11 22	推薦・特別入学試験(～23)	11 29	経営学研究科推薦入学試験
	自己推薦特別入学試験		文化科学研究科推薦入学試験
	課外活動特別推薦入学試験		
12 24	冬期休業(～1/9)	12 24	冬期休業(～1/5)
1 17	大学入試センター試験7(～18)		
1 27	秋学期定期試験(～2/2)		
2 5	一般入学試験(A日程)(～6)	2 14	後期入学試験
2 19	秋学期追再試験(～21)		
3 3	進級・卒業発表(3月3日)		
3 6	一般入学試験(B日程)		
	自己推薦特別入学試験、課外活動特別推薦入学試験		
3 20	秋学期卒業証書授与式	3 21	後期学位授与式
3 31	年度終了	3 31	年度終了

## 18 学生数関係事項

### (1) 学生数一覧

#### ① 大学

(平成 21 年 5 月 1 日現在)

学部・学科		1	2	3	4	合 計
経 済	経 済	190 ( 20 )	213 ( 16 )	256 ( 23 )	356 ( 22 )	1015 ( 81 )
外国語	英 語	94 ( 56 )	86 ( 42 )	103 ( 56 )	127 ( 64 )	410 ( 218 )
	ロシア語	25 ( 7 )	25 ( 13 )	20 ( 5 )	44 ( 9 )	114 ( 34 )
経 営	経 営	340 ( 63 )	239 ( 33 )	275 ( 36 )	238 ( 26 )	1092 ( 158 )
	産業情報	0 ( 0 )	0 ( 0 )	1 ( 0 )	8 ( 0 )	9 ( 0 )
	ビジネスコミュニケーション	0 ( 0 )	51 ( 9 )	74 ( 23 )	84 ( 28 )	209 ( 60 )
法	法	173 ( 29 )	134 ( 16 )	131 ( 18 )	242 ( 25 )	680 ( 88 )
	自治行政	0 ( 0 )	42 ( 3 )	32 ( 3 )	71 ( 4 )	145 ( 10 )
文 化	日本語・日本文化	0 ( 0 )	1 ( 0 )	3 ( 0 )	128 ( 56 )	132 ( 56 )
	比較文化	0 ( 0 )	0 ( 0 )	1 ( 0 )	96 ( 37 )	97 ( 37 )
	文 化	192 ( 82 )	191 ( 62 )	227 ( 73 )	0 ( 0 )	610 ( 217 )
合 計		1014 ( 257 )	982 ( 194 )	1123 ( 237 )	1394 ( 271 )	4513 ( 959 )

[( )内は女子内数]

#### ② 大学院

研究科・専攻		1	2	合 計
法 学	法 学	5 ( 2 )	9 ( 3 )	14 ( 5 )
経営学	経営学	8 ( 1 )	6 ( 2 )	14 ( 3 )
外国語学	英語学	2 ( 0 )	3 ( 0 )	5 ( 0 )
	ロシア語学	1 ( 1 )	4 ( 1 )	5 ( 2 )
経済学	地域経済政策	2 ( 0 )	1 ( 1 )	3 ( 1 )
文化学	文化学	3 ( 3 )	9 ( 4 )	12 ( 7 )
合 計		21 ( 7 )	32 ( 11 )	53 ( 18 )

[( )内は女子内数]

#### ③ 女子短期大学部

学科	1	2	合 計
英文	43	36	79
経営	50	68	118
合 計	93	104	197

大学・大学院・女子短期大学部合計

4,763 人

## (2) 私費外国人留学生国別一覧

(平成21年5月1日現在)

学部・学科等 国籍	経済	外国語	経営		文化			大学院			研究生	交換留学	合計
	経済	ロシア語	経営	ビジネスコミュニケーション	文化	日本語・日本文化	比較文化	経済	経営	文化			
中国	1	1	11	10	19	2	4	1	9 ※1	4	4	14	80
韓国					4						3	5	12
アメリカ												5	5
ネパール			1		2								3
オーストラリア												2	2
イギリス												2	2
ニュージーランド												4	4
台湾				1	1						1		3
ベトナム					1						1		2
イタリア											1	1	2
カナダ					1								1
合計	1	1	12	11	28	2	4	1	9	4	10	33	116
備考													

※1 国費留学生1人(中国)を除いた数

## (3) 派遣学生数一覧

(平成21年5月1日現在)

派遣先大学、国・地域	学部・学科	経済	外国語		経営		文化			計
		経済	英語	ロシア語	経営	産業情報	文化	日本語・日本文化	比較文化	
ネブラスカ州立大学カーニイ校	アメリカ		1							1
ネブラスカ州立大学リンカーン校	アメリカ									
ボール州立大学	アメリカ									
南フロリダ大学	アメリカ									
セントマイケルズカレッジ	アメリカ									
セントメアリーズ大学	カナダ									
クイーンズランド工科大学	オーストラリア									
ニューキャッスル工科大学	オーストラリア									
ビクトリア工科大学	オーストラリア									
シドニー工科大学	オーストラリア									
オークランド工科大学	ニュージーランド		2							2
ヨアネウム応用科学大学	オーストリア									
安徽工業大学	中国									
華東理工大	中国						1			1
高麗大学校	韓国									
中央大学校	韓国									
広東外語外貿大学	中国									
韓瑞大学校	韓国						1			1
ボローニヤ大学	イタリア									
ペルージャ外国人大学	イタリア							1	2	3
天津外国語学院	中国							1		1

派遣先大学、国・地域	学部・学科	経済	外国語		経営		文化			計
		経済	英語	ロシア語	経営	産業情報	文化	日本語・日本文化	比較文化	
モスクワ国立大学	ロシア									
レニングラード教育大学	ロシア									
ダラーナ大学	スウェーデン									
プーシキン大学	ロシア									
モスクワ教育大学	ロシア									
カリブー大学	カナダ									
全州大学校	中国									
リパブリカ・ジョン・ムアズ大学	イギリス									
合 計		2	1				3	1	3	10

#### (4) 私費外国人留学生入学試験結果

(平成21年3月31日現在)

学 部	学 科	募集人員	区 分	出願者数	受験者	合格者数	入学者数
外国語	ロシア語	若干名	一般	1	1	1	1
経営	経 営	若干名	一般	6	6	2	2
文 化	文 化	5	推 薦	2	2	1	1
		10	一 般	11	11	10	7
合 計			推薦小計	2	2	1	1
			一般小計	18	18	13	10
				20	20	14	11

## 国際交流関係事項概要説明

### (1) 私費外国人留学生（国別）

依然として中国籍の留学生が大部分を占めており、この傾向は今後もしばらく続くものと予想される。

なお、これまでいなかったカナダ、ネパール、ベトナム、イタリア等の国籍の留学生が在籍することにより、国際色が豊かになりつつある。平成 20 年度にフィンランド、平成 21 年度に台湾の大学と大学間交流協定を締結したことにより、当該国との交流も活発となり、本学の国際化が一層推進されるものと期待される。

今後の課題としては、日本語がほとんど話せないアメリカなどからの留学生の日本語教育をいかに展開していくかが大きな課題の 1 つである。

### (2) 派遣学生数

学生の派遣人数については、前年度比で大きく減少している。交換留学で受け入れる留学生の人数が毎年増加している割に派遣学生の数が伸びていない。要因の一つとして、学内での留学説明会が充実していないことがあげられる。

従来、派遣の中心は外国語学部の学生であり、留学先も英語圏に偏っていたが、最近は文化学部の学生が中国やイタリアの協定校に留学するケースも見られている。

アジアの協定校からの受入交換生が増加する一方、本学からアジアの協定校に派遣できていないのは、学生が留学に必要な語学レベルに達していないことから早めに諦めてしまうことが考えられる。中国、韓国、台湾の協定校では語学力に合わせた留学プログラムが多くあることから、このことを十分に周知できれば派遣数の増加が期待できる。

また、平成 21 年 3 月に実施した上海への短期研修が留学希望の動機づけに有効であったことから、短期研修を一層充実させ、まずは学生に海外の大学を体験してもらうことが必要である。

### (3) 私費外国人留学生入学試験

平成 21 年度私費外国人留学生の入学試験結果については、経営学部が推薦枠を撤廃したが、志願者数や入学者数は前年度とほぼ同じ結果であった。

文化学部では札幌に 1 校、仙台に 2 校、横浜に 1 校、東京に 15 校の推薦依頼校（日本語学校）をもっているが、文化学部が要求する日本語レベルと推薦される学生の日本語レベルとの差が大きすぎることから、不合格となるケースがある。「留学生 30 万人受入計画」も影響し、関東、関西の知名度の高い大学への入学が容易になってきているが、本学では新入留学生の受け入れは従来どおり厳選することとし、協定校からの優秀かつ経費支弁能力のある転入生の受け入れを今後とも推進していくことが必要である。